

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科
高度教職実践専攻入学試験
(特別選考入試(後期日程):小論文)

問 題 用 紙

注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

小論文注意

1. 解答は横書きとし、楷書で左から右へ書くこと。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。
3. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
4. 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破ったりしないこと。
5. 下書きは、別に配付の下書用紙を使用すること。試験終了後、下書用紙は持ち帰ること。

以下の論題について、1200字程度（1100字～1300字）で解答して下さい。

論題

2015（平成27）年12月21日、中央教育審議会は「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」を公表しました。我が国の教員は、学習指導、生徒指導等、幅広い業務を担い、子供たちの状況を総合的に把握して指導し、高い成果を上げています。一方で、新しい時代の子供たちに必要な資質・能力を育むためには、教育活動の更なる充実が求められます。

この答申では、いわゆる「チーム学校」を実現するためには、(1)「専門性に基づくチーム体制の構築」、(2)「学校マネジメント機能の強化」、(3)「教員一人一人が力を発揮できる環境の整備」という3つの視点に沿って施策を講じていくことが重要であるとしています。自校の現状と課題を踏まえながら、「チーム学校」実現の必要性について、(1)～(3)のうち2つの視点を選び、具体的な例を示しながら述べなさい。

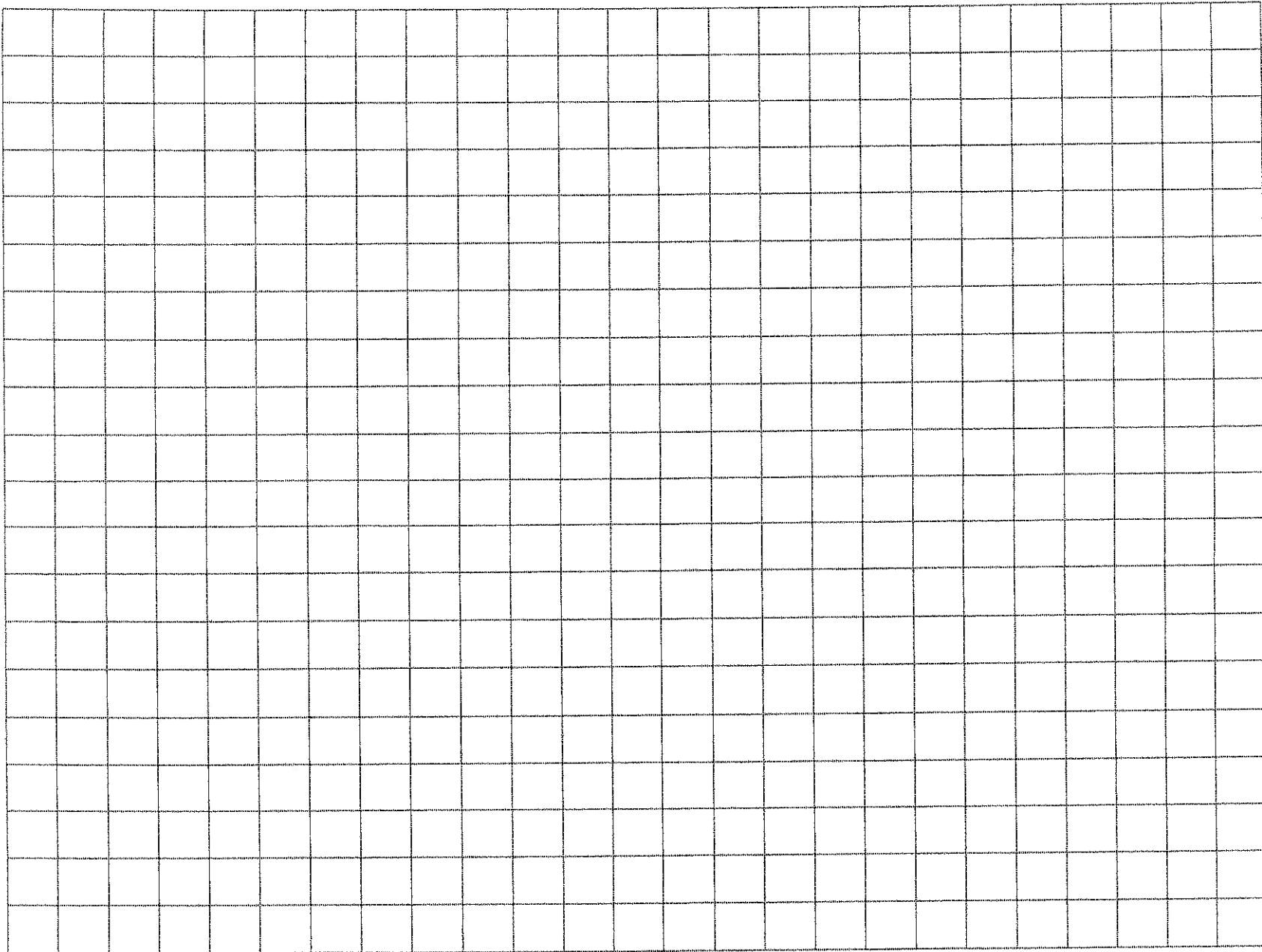
（注） ここで言う「自校」とは、現任校もしくは直近の勤務校を指しています。

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻入学試験
(特別選考入試：小論文 解答用紙)

受験番号					
氏 名					

大学記入欄 1	大学記入欄 2	大学記入欄 3	大学記入欄 4

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small, equal-sized squares formed by thin black lines. There are 20 columns and 20 rows of squares, creating a total of 400 square units. The lines are evenly spaced and extend across the entire area of the page, leaving no margins or other markings.



◀ 1100 字

◀ 1200 字

◀ 1300 字